

1996

8月号



329

広報

かわ
ち

KOHO
KAWACHI



もう宿題すんだぁ！



環境に配慮し た開発に期待

若い世代は、観光やレクリエーションなどによるにぎわいのある新しい形の発展を望み、世代が高くなるにつれて、今までの良さを守る形での活性化を期待している。

産業の活性化は

買い物の利便性の向上
と働く場の創造を重視

町が発展していくためには、
産業の活性化が大切です。そこ
で、産業の活性化のためには、
何が重要だと考えているのでしょ
うか。(二つ選択)

答えは、「ショッピングセン
ターなど大規模商業施設を誘致
する」が五一・九%、「工業団
地を造成し、企業を誘致する」
が四二・四%と、買い物の利便性
の向上と働く場の創造の二点が
挙げられました。

続いて、「新しい形の農業を
発展させる」が三七・五%、
「従来の農業の活性化」が二七・
九%と、これまで町が発展して
きた基盤である、農業の活性化
を重視している人も多くいます。
次に、「観光・レクリエーションの
開発」の一六・二%となっ
ています。また、若い世代ほど
「観光・レクリエーションの開
発」、「大規模商業施設を誘致」
を重視しています。
(グラフ-1)

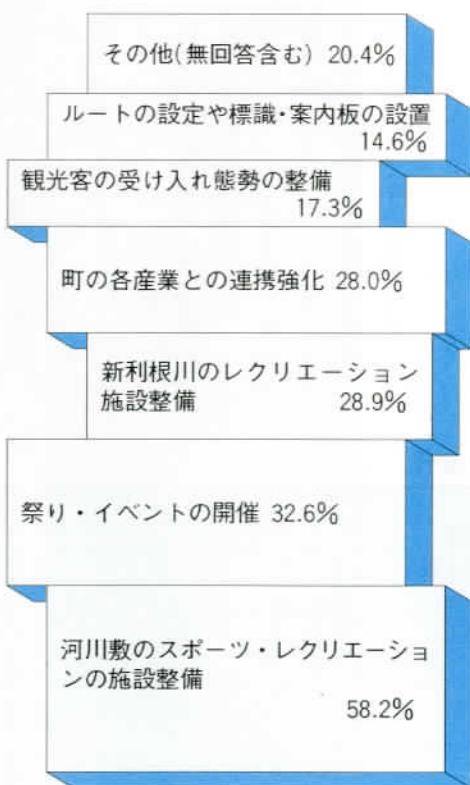


活性化のために
重要なのは(二つ選択)



グラフ-2

観光で大切なのは（二つ選択）



町の観光は

河川を中心とした

観光施設を重視

町のイメージアップのために、観光は欠かせないものです。これから河内町の観光については、「河川敷を利用したスポーツ・レクリエーション施設の充実」が五八・二%と最も多く、続いて、町の活性化への期待も

このように、町内には利根川や新利根川など釣りのスポットがあること、川の美しさを取り戻したいことなど、河川を中心とした観光施設を重視する声が多く挙げられました。また、若い世代ほど「祭り・イベントの開催」を重視していました。（グラフ-2）

これからの農業は 新しい形態での 農業の振興を

これから農業について、何

が大切か農業を営んでいる方に尋ねました。（二つ選択）

結果は、「農業後継者の育成」が四六・九%と最も重視されており、次に「流通・販売体制の強化」の三八・一%や「農地の集団化による中核的農家の育成」などの施策が期待されています。

世代別では、「生産基盤の強化」、「低農薬・有機農業の推進」「農産物の特產品化・銘柄化の推進」については、若い世代ほど重要だとしている率が高くなっています。

また、近年の消費者の影響を受けてか、「低農薬・有機農業の推進」が二二・三%、農業の活性化のための「農産物の特產品化・銘柄化の推進」も二〇・七%と重視され、次に、「土地改良や用排水路整備など生産基盤の強化」の一九・一%となっています。

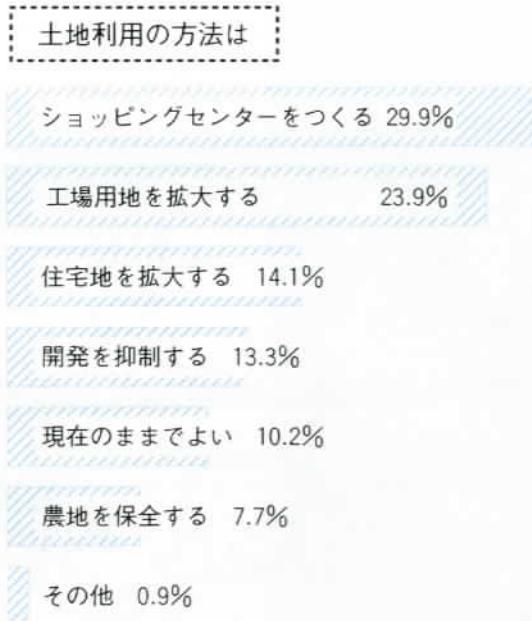
これからの農業は 新しい形態での 農業の振興を

これから農業について、何

が大切か農業を営んでいる方に尋ねました。（二つ選択）

結果は、「農業後継者の育成」が四六・九%と最も重視されており、次に「流通・販売体制の強化」の三八・一%や「農地の集団化による中核的農家の育成」などの施策が期待されています。

グラフー3



新たな土地利用を
望む意見が70%

農地が全面積の六〇%、その農地の九五%を水田が占める河内町では、これから町づくりを考える上で、土地、特に水田をどのように利用していくかを決めるることは大切なことです。

住みよい町づくりのため、町の土地利用をどのようにしたらよいと思いますかーの問い合わせに答えることは大変なことです。また、「商店街やショッピングセンターをつくる」は、前回の調査（昭和六十二年）に比べて十三%増加し、「工場用地を拡大する」は反対に減少しています。（グラフー3）

土地の利用方法は

して、「商店街やショッピングセンターをつくる」と答えた人が最も多く「九・九%」。次に多かったのが、「工場用地を拡大する」の「三・九%」、「住宅地を拡大する」の一四・一%と、七〇%近くの人が何らかの開発を期待しているようです。

これに対し、「開発を抑制する」、「現在のままでよい」、「農地を保全する」といった開発を抑制する意見は三一・二%

ほかでは、「し尿・ゴミ対策」（二九・九%）、「消防・救急・防災」（二九・七%）、「自然環境の保全」（二八・〇%）など完全で快適な生活環境への期待が大きいようです。

次に、福祉・文化については、町内には医療機関が少なく、また、高齢化が進んでいることから、町民は圧倒的に保健・福祉に関する施策の充実を求めているようで、「保健・医療対策」が六九・九%、「高齢者福祉対策」が六二・一%となっています。

また、「図書館、郷土資料館など文化施設の整備充実」（三〇・九%）、「小中学校の設備充実」（二九・八%）など生涯学習施設や教育施設の充実を期待しているようです。（表ー1）

これから町政はどの分野に力を入れたらよいかを、都市基盤・生活環境と福祉・文化の二項目に分け、それぞれ選んでもらいました。（三つ選択）

まずは、都市基盤・生活環境については、「下水道や下水路」



今後の施策は

下水道などの整備と 保健・医療対策の充実

◎福祉・文化

項目	%
下水道や下水路	50.7
広域的な幹線道路	37.9
農道や生活道路	36.1
し尿・ゴミ対策	29.9
消防・救急・防災	29.7
自然環境の保全	28.0
公園や広場	20.7
交通安全対策	20.4
公害の防止対策	15.0
防犯対策	14.5
上水道の整備	13.4

◎都市基盤・生活環境

項目	%
保健・医療対策	69.9
高齢者福祉対策	62.1
図書館など文化施設の整備	30.9
小中学校の整備充実	29.8
公民館・集会施設整備充実	24.4
生涯者福祉対策	20.2
スポーツ施設の充実	18.1
児童福祉・母子福祉対策	17.1
地域間交流、国際交流	8.4

表ー1

今後実施すべき施策は

町の歴史 あれこれ

ー町史編さん嘱託員 鈴木 久一

(19)

学校沿革誌 にみる明治

源清田小学校の場合

小学校の創立

近現代の町の様子を知る上で重要なのが『学校沿革誌』です。今回は源清田小学校の記録から明治期の河内をみていきたいと思います。

明治五年の「学制」で大・中・小の学区が定められましたが、河内地区では、第一大字区茨城県管内第三十二番中学校区の羽騎校が最も古く明治七年設立、源清田、長竿、生板の各学校がいずれも明治八年、金江津学校は千葉県管内第二十六番中学区に属し明治九年設立となっています。

伊藤校長は四四年に退職、のち生板村の助役、さらに第一〇代（大正八—一年）村長を勤めました。生徒から慕われていたことを示す一枚の記念写真があります。伊藤村長を中心に龍中に進学した教え子たちが並んでいます。先生右隣には、後に源清田村長、河内村初代村長となつた沼崎一夫さんの顔が見えます。

教育勅語・校舎全焼

『沿革誌』の伊藤校長の手になる部分は明治の河内を知る上で興味深いものがあります。

明治二四年、教育勅語謄本が初めて下賜され、翌二五年一月三日に「天長節儀式ヲ行フ、三大節ニ儀式ヲ行フ、

水害と学校

水害の記録は実に丹念です。

明治二九年九月一日「本校

源清田小初代伊藤校長のこと

源清田小初代校長伊藤貞吉

先生は、師範卒業後明治二五年に赴任、その年六月一日に源清田尋常小学校となり、その日が創立記念日となっています。しかし歴史的には、明治八年に保村地内光明寺を仮校舎に源清田学校の設立をみ、一六年に宇新橋に校舎建築、一九年一二月に羽騎校改め古河林小学校と合併し一村一校となり二五年に至るわけです。

伊藤校長は四四年に退職、のち生板村の助役、さらに第一〇代（大正八—一年）村長を勤めました。生徒から慕

われていたことを示す一枚の記念写真があります。伊藤村長を中心に龍中に進学した教え子たちが並んでいます。先生右隣には、後に源清田村長、河内村初代村長となつた沼崎一夫さんの顔が見えます。

教育勅語・校舎全焼

『沿革誌』の伊藤校長の手による部分は明治の河内を知る上で興味深いものがあります。

明治二四年、教育勅語謄本が初めて下賜され、翌二五年一月三日に「天長節儀式ヲ行フ、三大節ニ儀式ヲ行フ、

決壊、「本校ハ床上一尺五寸」「其惨状言語ニ絶シ実ニ天明年間ノ洪水ヨリモ大」と。

日清・日露戦争の記念樹

明治二八年三月には校庭に「征清記念栽樹」として茱萸を植え、「兵士ノ送迎ヲ盛ニセンガ為ニ始メテ風琴一台ヲ購入」。三八年九月一日新校舎竣工、「征露記念栽樹」として松、杉、桜、柳、合歡木、梅などを植えています。日露

戦争を契機にソメイヨシノが全国的に広がつていつた事情が知られます。

※大逆事件と二宮金次郎

日露戦争後社会問題が顕著になり、学校にも厳重な対処が求められました。明治四年一二月の戊申詔書謄本の下付、翌四二年一〇月、伊藤博文暗殺について児童への訓示、そして明治四年二月、郡視学から大逆事件に関連して、「我が國体ノ万国ニ卓越セル所以ヲ知ラシメ尚モ忠孝ノ大儀ヲ誤ルコトナカラシムル様」訓戒の徹底を求められ、四月には、二宮金次郎の偉人肖像が各教室に掲げられました。伊藤校長が退職したのはその一二月のことでした。



▲生板村長となった伊藤先生を囲む龍中に進学した教え子たち

※ 幸徳秋水ら無政府主義者に対する弾圧事件

六月定例会 一般質問

六月十七日から二十一日まで開かれた、六月定例町議会では、八件の一般質問が出されました。その一般質問の概要についてお知らせします。

農業経営対策について

策を考えています。

答弁 河内町は何が一番の特産物かというと、お米です。そういうことで、お米を少しでも高く売れるようなことをしていかなければならないと思います。

そういうことから、河内の

これからは、産地間の競争に生き残りながら、商品の価値を上げていくということが必要だと思います。そういう意味で食味計を導入し、河内産米の品質のグレードアップを図っていきたいと思います。自分のところのお米がどのくらいおいしいか計数的に出れば、自信も出ると思います。

答弁 農業後継者を含めて、二十七、二十八歳以上の未婚の方は、千人近くいます。これからは、町の環境など、ほかにお嫁さんに来ていただいて、ここに住んでみたいといふ気持ちづくりをしていかなければなりません。

答弁 福祉については、きめ細かくしていこうということです、いろいろ考えていますが、職員の枠もあります。しかし、どうしても不足がちなところについては、考えなければならぬだろうと鋭意検討中です。

答弁 地盤沈下による福祉センターの補修については、業者、設計業者とも打ち合わせ会議をしているところでして、修繕方法については、十分注意していきたいと思います。

答弁 河内中学校の体育館の柱が曲がっているのではないかという件ですが、その測定や曲がり具合についてどうなのかということになりますと、専門の業者でないと分かりませんが、職員が測定したところでは、多少はあるようと思わ

ます。

また、米の袋についても、

河内独自のパッケージを作り、

都内などで米のPRなどをしながら銘柄米として位置付けするなど、販売力の強化などについても助成をしていきました。

これからは、社会福祉協議会の事業などの充実が一番必要なではないでしょうか。今後は、訪問看護、訪問指導などに重点を置いていきたいと思います。福祉センターに来ていただいて、するのも福

農業後継者 対策について

福祉について

公共工事 について

社ですが、来られない方もいます。そういうことからも、社会福祉協議会の方と総合しながら、人員の問題も考えていただきたいと思います。また、障害者の中には、重度の方も、軽度の方もいます。ですから、社会に溶け込めるくらいの障害者の場合は、そいつた体力作りや、自立できるような職業的な訓練もしていかなければならぬだろうと思います。

答弁 河内町は何が一番の特産物かというと、お米です。そういうことで、お米を少しでも高く売れるようなことをしていかなければならないと思います。

そういうことから、河内のPR、また、イチジク、ハス、イチゴなども含めまして、販路をいかにとるかといふことも、考えなければなりません。町としても、国道四〇八号線があることから、直売所の建設などいろいろな施設などいろいろな

答弁 農業後継者を含めて、二十七、二十八歳以上の未婚の方は、千人近くいます。これからは、町の環境など、ほかにお嫁さんに来ていただいて、ここに住んでみたいといふ気持ちづくりをしていかなければなりません。

答弁 地盤沈下による福祉センターの補修については、業者、設計業者とも打ち合わせ会議をしているところでして、修繕方法については、十分注意していきたいと思います。

答弁 河内中学校の体育館の柱が曲がっているのではないかという件ですが、その測定や曲がり具合についてどうなのかということになりますと、専門の業者でないと分かりませんが、職員が測定したところでは、多少はあるようと思われます。

答弁 河内独自のパッケージを作り、都内などで米のPRなどをしながら銘柄米として位置付けするなど、販売力の強化などについても助成をしていきました。

答弁 地盤沈下による福祉センターの補修については、業者、設計業者とも打ち合わせ会議をしているところでして、修繕方法については、十分注意していきたいと思います。

答弁 河内中学校の体育館の柱が曲がっているのではないかという件ですが、その測定や曲がり具合についてどうなのかということになりますと、専門の業者でないと分かりませんが、職員が測定したところでは、多少はあるようと思われます。

れます。

一般行政について

答弁 河内町の場合は、基幹産業は農業ですが、農家の後継者がこの町にいかに残れるか、若い人がこの町に残れるには、どうしても職と住が一体にならなければなりません。農家の次男、三男の人がこの町で生活できる環境の場を作りたいと思います。

答弁 昨年度から、中原先生

答弁 企業の誘致、住宅用地の造成、そういうことができるように機構改革をしましたし、町営住宅などの建設にも積極的に取り組んでい

答弁 一度開催し、皆さんのが一度に反映させながら、こちらの考えもご理解いただきながら、まちづくりをしていきたいと思います。

診療所跡地利用について

答弁 昨年度から、中原先生

答弁 当町は、東西に横断する道路が完璧ではありません。特に、生板地区内の取手東線については、地域の方やそこを通られる車の方も、迷惑や不便を感じている状況です。町としては、県の方ともいろいろ協議しまして、第二栄橋の開通によるアクセス道路の路線などについて、かなり進展した話がなされています。

答弁 現在の下水道の進捗状況は、七年度までに生板第二分区が完了し、五十三戸が接続されています。今年度から、源清田地区が計画されています。

答弁 生板地区の場合、利用件数

こうと計画立案中です。

住んでいる町には、夢とロマンが必要ですし、夢とロマンの持てるまちづくりをしていきたいと思います。また、

皆さんの生活の中から生まれてくる政治が理想だと考えますので、地域住民懇談会を年

について、町へ移管していただくような手続きをとっています。跡地については、町営住宅の建設を予定しています。

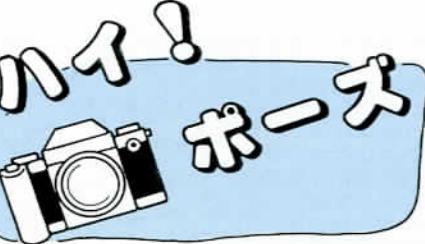
幹線道路の整備について

それに伴いまして、折に触れて要望などを提出しています。また、千葉県はスープ堤防を建設し立派な道路を整備していますが、茨城県としても、そういう事業につきまして、積極的に要望してまいります。

そのほかに、トイレの水洗化などの資金も必要です。

また、かなりの年月を経ないと、下水道が利用できない地域は、家を建てるときに下水の処理について、合併浄化槽で処理しています。下水道の計画から外れている家庭などについては、その処理施設などについては、申請すれば補助金が国と県と町から出る形になっています。

町政一般について



佐川 莉羅ちゃん
(3ヶ月・下組)



こんにちは、莉羅です。毎日暑くて大変だけど、パパと一緒に入るおふろが一番の楽しみ。お湯の中で、足をバタバタして泳ぐ練習をしているの。大きくなったら、水泳の選手になろうかな。

(父:暢寛・母:雅子)

防災週間
8月30日～9月5日
日ごろの備えの大切さ



答弁 河内町の場合は、基幹産業は農業ですが、農家の後継者がこの町にいかに残れるか、若い人がこの町に残れるには、どうしても職と住が一体にならなければなりません。農家の次男、三男の人がこの町で生活できる環境の場を作りたいと思います。

答弁 一度開催し、皆さんのが一度に反映させながら、こちらの考えもご理解いただきながら、まちづくりをしていきたいと思います。

答弁 当町は、東西に横断する道路が完璧ではありません。特に、生板地区内の取手東線については、地域の方やそこを通られる車の方も、迷惑や不便を感じている状況です。町としては、県の方ともいろいろ協議しまして、第二栄橋の開通によるアクセス道路の路線などについて、かなり進展した話がなされています。

答弁 現在の下水道の進捗状況は、七年度までに生板第二分区が完了し、五十三戸が接続されています。今年度から、源清田地区が計画されています。

答弁 生板地区の場合、利用件数

答弁 河内町の場合は、基幹産業は農業ですが、農家の後継者がこの町にいかに残れるか、若い人がこの町に残れるには、どうしても職と住が一体にならなければなりません。農家の次男、三男の人がこの町で生活できる環境の場を作りたいと思います。

答弁 一度開催し、皆さんのが一度に反映させながら、こちらの考えもご理解いただきながら、まちづくりをしていきたいと思います。

答弁 当町は、東西に横断する道路が完璧ではありません。特に、生板地区内の取手東線については、地域の方やそこを通られる車の方も、迷惑や不便を感じている状況です。町としては、県の方ともいろいろ協議しまして、第二栄橋の開通によるアクセス道路の路線などについて、かなり進展した話がなされています。

答弁 現在の下水道の進捗状況は、七年度までに生板第二分区が完了し、五十三戸が接続されています。今年度から、源清田地区が計画されています。

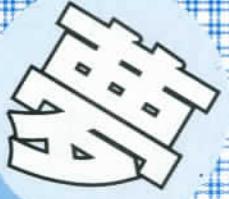
答弁 生板地区の場合、利用件数

でみると一戸当たり四千万円くらい掛けていることになるので、もっと加入していただかないといけないと思います。係の方でも、加入推進に各家庭を回っていますが、負担金が最高に掛かる家庭で五十五万円です。そのほかに、トイレの水洗化などの資金も必要です。

また、かなりの年月を経ないと、下水道が利用できない地域は、家を建てるときに下水の処理について、合併浄化槽で処理しています。下水道の計画から外れている家庭などについては、その処理施設などについては、申請すれば補助金が国と県と町から出る形になっています。

ぼくのわたしの

[金江津保育所]



山田 詩くん
りっぱな人



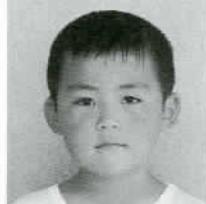
大月 郁哉くん
コックさん



伊藤 康平くん
おもちゃ屋さん



大野 真央ちゃん
かがくしゃ



内藤 俊宏くん
お金もち



塙本 規規くん
お店屋さん



細谷 亜美ちゃん
ケーキ屋さん



小松真奈美ちゃん
ケーキ屋さん



高橋 知巳ちゃん
ケーキ屋さん



内藤 美幸ちゃん
スケートの先生



大野 舞香ちゃん
パン屋さん



酒井 郁ちゃん
ケーキ屋さん

ふるさとの思い出



秋山 豊子（関場）

千葉県
九十九里町

船上からのもちまき

片貝海岸のある、九十九里町が私の古里です。生家の二階からは、海がよく見えます。九十九里といつたら、やはり海なんでしょうけど、私は海が大嫌いなんです。というのは、小学校の二年生のときだつたか、海で遊んでいておぼれそうになったことがあります。そのことがあってから、海たんです。

千葉県
九十九里町

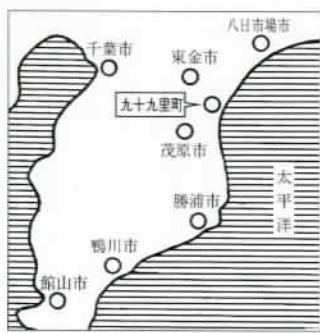
船上からのもちまき

ました。今では、高級魚のサヨリとか、そういうのがたくさん捕れたんです。だから、私が子どものころは、そういうのに十分賄えたので、魚屋さんで、買うようなことはありませんでした。今はどうか分かりませんけど、漁船の進水式のとき、船を海に浮かべて、船上か

は嫌いになってしまいました。海の町に住んでいるのに、海が嫌いというのも変なんですけど、でも、魚や貝類は大好きです。とても、おいしいであります。晚のおかずにするのに、バケツを持って、浜に貝捕りによく行きました。また、地引き網を手伝って、お駄賀として捕れた魚をもらったりもし

ら浜に向かってもちをまくんです。こちらでいう建前なんでしょうけど、昔は、そういうのがありました。

河内町に来て、もう二年になりますけれど、にぎやかなイベントを増やして、もっと活気に満ちたまちづくりを、これからも進めさせてほしいと思いま



お茶の問



福泉寺（千葉県・多古町）住職
無着成恭氏夫人。寿人生大学の
講師として来町。山形県出身。

無着ときさん

本当は、医者になりたかったのです。でも、当時は農家の娘が医者になるなんてことは、許されない時代、せいぜい許してもらえるのは看護婦ぐらいという、そういう時代だったんです。

育児のため一時退職したんです
が、昭和五十五年、政府派遣のカンボジア難民救済医療団に参加し、難民キャンプに行きました。仕事の大変さは覚悟していたので、それでもなかつたんですが、一緒にいた医者との摩擦というか、ストレスが大変でした。

ボランティア活動においては、日本は後進国だったんですね。医

ボランティア活動は自分を豊かにするもの

者が、組織的にそういう活動をするというのは、まったく初めてのことだったんです。外務省から頼まれたので、しかたなしに行つたという状態でした。

当時のカンボジアというのは、最悪の状況でした。今の若い人だったらカルチャーショックを受けると思いますが、私は、戦後何もないう時代を経験していましたので、まったく困りませんでした。ただ、近くで爆弾の破裂する音がしたりすると、難民はバーッと逃げてしまつて、気が付いたら、私一人だけ取り残されていたといったこともありました。

今は、豊か過ぎて、感動することが少ない時代です。この前の神戸の大震災の時、若い人が、目を輝かして生き生きとしてボランティア活動に従事していましたね。ですから、ボランティア活動というのは、自分を豊かにするあります。お寺に住むようになって、十年近くたちますが、充実しています。お寺というところは、特権ですね。宗教法人など、いろいろ問題になつてますが、だからこそ、自分たち自身厳しく生活していかなければいけないと考えていてます。

はい

かわち俳句会

梁組の見える昔家土間涼し
古雨戸五六寸あけ熱帯夜

鳴焼の匂いを運ぶ路地の風
会釈して走る少女の夏帽子

気がねなく風鈴なるや老一人
打水や庭の小石の照り返し

熱し夜や外ふく風にくつろげり
八十路来てなお母忍ぶ冷奴

晩学のひたすらにして蝸牛
梅干して遠き思い出母のある

子に添寝乳の匂へる熱帯夜
回想は後から後から熱帯夜

憔悴の朝のまなざし熱帯夜
梅雨あけて野は青々と人見えず

夏布団掛けやり孫の寝息きく
憎まれぬ悪戯坊主河童の忌

雲脱いで筑波すつきり初夏の頃
夏祭りハッピ姿の児等踊る

熱帯夜うつな姿で無礼講
梅干して予報でわかる婆の顔

満点の星に託せり夜干し梅
懶なく朝となりけり熱帯夜

裾上げて終は遠くに水を打つ

鴻野三郎

津根としお
神崎迪太郎

吉田四郎
鴻野たけ

篠本しげる
本橋澄江

小島とし
岡田みつ

中山千代
中山千代

鈴木桐葉
鈴木桐葉

平川和楓
平川和楓

大関さと
大関さと

田中白茅
田中白茅

大森つや
大森つや

諸岡口庄
諸岡口庄

田井一江
田井一江

大塚まさ子
大塚まさ子

ズーム

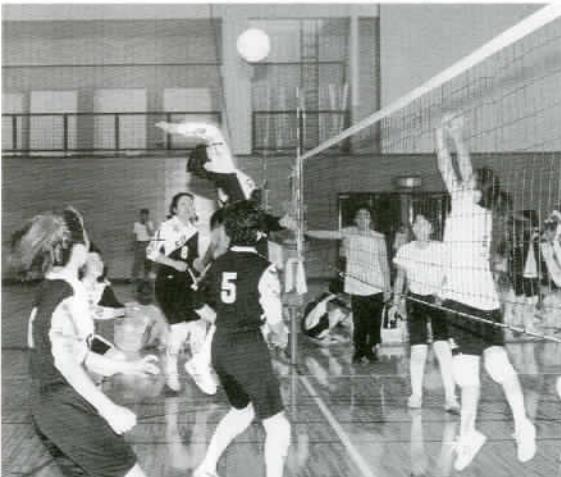


日本の味はどうですか？

それぞれの国の料理、食文化を通して、お互いのお国柄や文化を理解し合う。7月21日、中央公民館を会場に、女性の会(旧婦人会)生板支部の皆さんによる、食文化国際交流会が開かれた。

今年で、5回目を数える交流会。今年は、つくば市にある国際協力事業団に研修のために来日している、タイ、スリランカ、フィリピンの方々を招いて、てんぶらなどそれぞれの国の代表料理を作ったり試食したりして交流を深めた。

アップ



ポイ捨て空き缶 の多さに驚く

七月十四日、太陽と水と緑の美しい町づくりをテーマに、町内全域で、捨てられた空き缶などの回収を行いました。当日回収された空き缶は、約六・四トン。その量に、関係者は、驚くやらあきれるやら。いつになつたら、無くなるのでしょうか、空き缶のボイ捨て。

アタツク源 薔薇組が優勝

第一回町民バレーボール大会が七月十四日、農業者トレーニングセンターで行われ、町制施行後初のチャンピオンに、アタツク源薔薇組が輝いた。大会は、男性が一チーム四人まで参加してもよい男女混合で行われ、三十度を超える真夏日の中、十チームが熱戦を展開し練習の成果を競った。

戸籍の窓

7月届出分（敬称略）

★は5月届出

おめでた

赤ちゃん	保護者	地区
★莉羅	佐川暢寛	下組道
莉那	大野祐意智	中宿
拓朗	長尾慎一郎	上
季生	大古一成	中金江津
みづき	小玉一樹	中金江津
瑛浩	織原正且	栗手平三郎
理貴	蓮見弘和	中金江津
詩乃	江口公明	中金江津
ひろ	青野喜美	上金江津
蓮	長峰隆夫	流作
拓磨	藤ヶ崎光明	下金江津

おくやみ

氏名	年齢	地区
海老原功	52	西
鈴木益江	68	庄布川
内藤豊	81	上金江津
秋山幸	77	片巻
秋葉正雄	65	宿
武藤順治	66	丸田
秋山達	72	外愛宕町
細村貞男	86	北河原
田中彦七	84	中上
山本八重子	80	和銅谷

における早期教育を考える大会

県社会福祉協議会、内町、新利根町、江戸川町、東村、邑、海部、久慈郡、高崎市、高崎市、高崎市、高崎市



茨城県ボーテージ協会主催による、「地域における早期教育を考える大会」が七月十四日、県や河内町ほか県南地区関係市町村の社会福祉協議会の後援を得て、中央公民館で行われた。

ボーテージ協会は、乳幼児期に発達の遅れや偏りのみられる子どものために開発された早期教育プログラムを普及させることを目的とした団体です。

当日は、現在ボーテージプログラムで指導を受けている子どもたちの両親のほか、県南地区の保健婦さんや保母さん、福祉行政に携わっている方、筑波大学病院の医師など五十人が参加。県ボーテージ協会の指導係を勤めている、渡辺笙子先生の基調講演などがあり、参加者は、子どもの発達支援、育児支援のために、地域での取組みはどうあるべきかなどの意見交換をした。

早期教育のあり方について意見交換

7月

町長の動き

- 1日(月)消防幹部研修(6月30日)
- 2日(火)序議、社会福祉協議会理事会・評議員会
- 3日(水)県農林水産部長来庁
- 4日(木)米のパッケージデザイン打合せ、空港公団佐々木副総裁来庁
- 5日(金)郡町村議員海外研修出迎え、竜ヶ崎地区交通対策協議会常任理事会
- 6日(土)青少年育成町民会議総会、利生地県消防協会会长就任祝賀会
- 7日(日)社会教育委員、公民館運営審議委員会合同会議、下水道事業運営審議会
- 8日(月)社会教育委員、公民館運営審議委員会合同会議、下水道事業運営審議会
- 9日(火)社会教育委員、公民館運営審議委員会合同会議、下水道事業運営審議会
- 10日(水)県ボーテージ協会長来庁、総合検診協会専務理事来庁
- 11日(木)本町史編さん委員会
- 12日(金)建設省常総国道建設事務所長来庁
- 13日(土)遺族会壮年部総会
- 14日(日)町交通安全対策協議会、利根・河内塵芥処理組合臨時議会
- 15日(月)空港公団本社移転に伴う議員研修会
- 16日(火)竜ヶ崎・利根・河内議会
- 17日(水)空港公団本社移転に伴う披露式
- 18日(木)交通少年団入団式、国保運営協議会
- 19日(金)金稻敷広域管理者会議
- 20日(土)管理職会研修(→21日)
- 21日(日)稲敷広域組合議会行財政運営協議会
- 22日(火)視察研修(→24日)
- 23日(水)敬老福祉大会実行委員会
- 24日(木)寿人生大会、統計協会竜崎支部役員会・総会

□ ガイド

役 場 ⑧42111

水 道 課 ⑧42361

つつみ会館 ⑧63740

保健センター ⑧44486
学校教育課 ⑧43322
生涯学習課 ⑧42843
(中央公民館)
給食センター ⑧42845
福祉センター ⑧43699

県立医療大学

公開講座

阿見町にある県立医療大学では、大学に集積した医療・福祉に関する知識や技術などを開放し、健康や医療・福祉に関する知識を高めていただく目的に公開講座を開講します。

■テーマ 在宅介護をどう考え、実践するか

■日 時 9月4日から25日までの毎週水曜日 午後6時半から8時半

■受講料 無料

■申込み方法 往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、県立医療大学教務課内公開講座事務局まで(阿見町阿見4669-2) ☎0298-40-2111

その他

事業所・企業統計

調査にご協力を

10月1日現在で、全国一斉に事業所・企業統計調査が実施されます。この調査は、統計法に基づいて行われる国のも基本的な統計

主人を待っています

つつみ会館には、傘や履物などの忘れ物が“主人”を待っています。お心当たりの方は、つつみ会館までどうぞ。

休日診療 当番医

◇江戸崎地区(市外局番0298)

【8月】 *古橋医院を除く

18日 矢野医院 92-2127

25日 和田医院 94-2412

【9月】

1日 本橋医院 92-2345

8日 宮本病院 94-2611

15日 鴨下医院 92-2619

16日 津村医院 94-2719

22日 竹尾医院 86-2436

◇竜ヶ崎地区

*上段が内科、下段が外科です。

【8月】

18日 村井内科小児科医院 62-3380

西新道外科医院 62-6561

25日 根本医院 62-3155

野村病院 62-6561

【9月】

1日 若松内科・胃腸科 64-0533

いしかわクリニック 62-0378

8日 山村医院 66-0555

竜ヶ崎医院 62-0550

15日 三石内科クリニック 62-2234

秋本脳神経外科 64-3311

16日 八代内科医院 64-1710

青木病院 64-3131

22日 山本医院 66-3348

中村クリニック 64-6655

*診療を受ける際は必ず電話で確かめてください。

'96 9月のゴミ収集カレンダー

資源回収日		燃えないゴミ収集日	
A地区	10、24	A地区	
B地区	11、25	B地区	19
C地区	12、26	C地区	
D地区	3、17	D地区	5
E地区	4、18	E地区	

燃えるゴミの収集日		粗大ゴミの予約収集日
A地区		全地区
B地区		
C地区	毎週月曜日と金曜日	
D地区		
E地区		

■9月中に粗大ゴミの予約をされた方は、10月5日に収集します。

■問合せ 都市計画課環境衛生係 ☎84-2111 内線155、156



8月の納税

- ◇ 町 県 民 税 2期 ◇
- ◇ 国民年金保険料 5期 ◇
- ◇ 国民健康保険税 3期 ◇

徴収日は、9月2日です。

健康・福祉

人間ドック健康

診断のお知らせ

町では、9月1日から国民健康保険に加入している方に対し、疾病の早期発見と健康の保持増進を図るために、指定医療機関において人間ドック健診を次のとおり行います。

■対象者 35歳以上の国民健康保険税を完納している世帯の方

■助成額

日帰りコース 23,000円
一泊コース 33,000円

■医療機関

取手協同病院
東京医科大学霞ヶ浦病院
牛久愛和総合病院
中村クリニック

■申込み・問合せ先 国民健康保険証、印鑑を持参の上、保健センターまで☎84-4486

「仕事と介護」両立

支援セミナー

(財)21世紀職業財団茨城事務所では、家族の中に寝たきりのお年寄りなどがいるため、働きながら介護をしなければならない方のための支援セミナーを行ないます。

■日 時 9月6日(金)
午後1時から

■会 場 竜ヶ崎市中央図書館
2階鑑賞室

■申込み・問合せ先
(財)21世紀職業財団茨城事務所
☎029-226-2413

身体障害者相談員に

江口きみ江さん

体に障害を持つ方の、身近な相談者として活動する身体障害者相談員に、江口きみ江さんが就任されました。

江口さんは、障害を持つ方の立場に立って良き相談相手として、障害を持つ方の更生援護に関する相談などに応じています。江口さんの電話番号は86-2638です。



募集

高齢者原付

バイク講習会

竜ヶ崎警察署と竜ヶ崎地区交通安全協会では、高齢者原付バイク講習会を、次のとおり開催します。

■日 時 9月27日(金)
午前10時から

■会 場 中央公民館

■申込み・問合せ先
総務課 内線 122

「ゆうあいピック」大会

スローガン・マスコット募集

知的障害者の全国スポーツ大会である「ゆうあいピック」が、平成10年10月に茨城県で開催されます。大会を開くに当たって、大会スローガンとマスコットを募集します。

“だれもが健やかに暮らせるやすらぎに満ちた社会づくり”を目指す本県にふさわしいスローガン、マスコットをお待ちしています。

■応募資格 県内に居住している方及び通勤・通学している方

■応募方法 スローガンは官製はがきで、マスコットは、A4の用紙、または官製はがきに書いて応募してください。

■締切り 9月30日

■問合せ先 県障害福祉課内「ゆうあいピック開催準備室」

☎029-228-4203

町の人口と世帯

平成8年8月1日現在

人 口 12,154人 (+ 5)

男 5,997人 (+ 3)

女 6,157人 (+ 2)

世帯数 3,120戸 (+ 1)



夏の光に遊ぶイトトンボ

トンボというと、追いかけて川べりを走った情景を思い浮かべる方も多いのでは。足元の草むらを注意して見ると、光りを浴びて、イトトンボが夏をおう歌していた。

■平成8年8月15日発行 ■編集 河内町秘書広聴課

〒300-13 茨城県稲敷郡河内町源清田1183

☎0297(84)2111